

指定管理者議案説明資料

所管 経済観光局観光・MICE 推進部 MICE 施設整備担当課

施設の名称（所在地）	札幌コンベンションセンター（白石区東札幌6条1丁目）
選定方法	公募

1 施設の概要

(1) 設置条例	札幌コンベンションセンター条例
(2) 設置目的	内外の優れたコンベンションの開催の場を提供することにより、人々の来訪や交流を促し、もって地域経済の活性化及び市民文化の向上を図ることを目的とする。
(3) 施設の事業内容	・大ホール、特別会議場その他の施設を使用に供すること。 ・その他センターの設置目的を達成するために必要な事業
(4) 現在の指定管理者等	SORA—SCC共同事業体
(5) 指定管理費	0円（令和4年度予算額） ※利用料金制度

2 指定管理者として指定する団体の概要

(1) SORA—SCC共同事業体の概要

名 称	SORA—SCC共同事業体
所 在 地	札幌市白石区東札幌6条1丁目1番1号
構 成 員	(代表団体) 東京都千代田区三番町2番地 株式会社コンベンションリンケージ 代表取締役 平位 博昭 (構成団体) 札幌市中央区北6条西22丁目2番7号 株式会社東洋実業 代表取締役 横田 正弘
設立年月日	令和4年9月1日
設立目的	札幌コンベンションセンターの管理に係る業務を遂行することを目的とする。
分担業務	(施設の全体管理運営統括業務、利用料金収受、自主事業及び共催事業企画運営) 株式会社コンベンションリンケージ (施設・設備の維持管理、清掃・警備業務) 株式会社東洋実業

(2) 構成員の概要

ア 株式会社コンベンションリンケージの概要

名 称	株式会社コンベンションリンケージ			
所 在 地	東京都千代田区三番町2番地			
代 表 者 名	代表取締役 平位 博昭			
設 立 年 月 日	平成8年7月3日			
設 立 目 的	(1) 各種イベントの企画・制作 など (2) 国際会議・国内会議・展示会・見本市の主催及び企画・運営の受託業務並びにこれらに関する情報提供、コンサルティングサービス など			
資 本 金	50,000 千円			
職 員 数	389 人 (令和4年6月1日現在) ※役員及び嘱託職員、臨時職員等を除く。			
事 業 概 要 (令和4年度)	(1) 国際会議・コンベンション・展示会及び通訳・翻訳・調査研究・コンサルティング等の業務等 過去実績：G7 保健大臣会合、G7 下院議長会合、日米都市サミット、上海国際博覧会展、APEC 首脳会議、国際通貨協会会議 など (2) 官公庁から委託を受けた事業 管理物件：別府国際コンベンションセンター、東京国際交流館プラザ平成、大阪国際交流センター、川崎市コンベンションホール、奈良県コンベンションセンター、札幌市資料館 など			
決 算 (令和3年度)	売上高	21,323 百万円	売上総利益	4,778 百万円
	営業利益	2,449 百万円	経常利益	2,525 百万円
	税引前当期純利益	2,525 百万円	税引後当期純利益	1,663 百万円

イ 株式会社東洋実業の概要

名 称	株式会社東洋実業		
所 在 地	札幌市中央区北6条西22丁目2番7号		
代 表 者 名	代表取締役 横田 正弘		
設 立 年 月 日	昭和40年4月13日		
設 立 目 的	(1) 建築物における清掃業務 (2) ビル等建造物その他の施設等の空気調和設備、電気設備、給排水設備、消防設備等の運転保守及び点検整備 (3) 警備業法に基づく警備事業 など		
資 本 金	73,800 千円		
職 員 数	1,320 人 (令和4年7月1日現在) ※役員及び嘱託職員、臨時職員等を除く。		
事 業 概 要 (令和3年度)	(1) 指定管理者管理運営事業 札幌市あいの里公園、茨戸川緑地、岩見沢市体育施設、余市町総合体育館など		

	(2) P F I 整備事業 苫小牧法務総合庁舎、旭川市立高台小学校、東京芸術大学学生寮			
決 算 (令和4年度)	売上高	8,722 百万円	売上総利益	1,654 百万円
	営業利益	270 百万円	経常利益	345 百万円
	税引前当期純利益	345 百万円	税引後当期純利益	211 百万円

3 指定期間

令和5年4月1日から令和10年3月31日まで

4 選定結果

別紙のとおり

5 事業計画

ア SORA-SCC 共同事業体

項 目	事 業 内 容
維持管理事業	公の施設であることに鑑み、関係法令の規定を確実に遵守し、施設及び設備全般の機能を良好に維持し、建物の「安全性、快適性、美観、経済性」の確保を図るとともに、適正なレベルで施設性能を長期間維持し、LCC(ライフサイクルコスト)の最小化を図るため、①環境配慮と省エネルギーの推進、②マルチスタッフ育成による省力化、③施設の長寿命化、④安心・安全な施設づくりなどに取り組む。
防災業務	<ul style="list-style-type: none"> ・災害・事故等の様々なリスクを想定し、防災研修や避難所運営研修、救命研修等を実施する。 ・開閉館時の災害に備え、懐中電灯や緊急連絡先用の無線機等の常備、緊急連絡体制及び人員体制を確立する。 ・防火管理者を選任、消防計画を策定するほか、「札幌市地域防災計画」や「札幌市避難場所基本計画」との整合性に留意した、防災計画を策定する。
コンベンションの誘致、利用促進業務	①経済効果・PR効果の高いコンベンションを誘致、②効果的なプロモーション活動、③誘致体制の連携強化の3つの基本方針に基づき、誘致ターゲットを経済効果・PR効果の高いコンベンションに絞り、効果的な営業活動を継続していく。
主催者等へのサービス提供業務	①ワンストップサービスの強化、②ハイブリットコンベンションの開催サポート、③おもてなしコンシェルジュ機能の促進を中心に、PC サービスルーム・旧喫煙室の多目的活用、206・207 会議室の連結等を行うことで、利用者のニーズに合ったサービスを提供する。
貸館業務	<ul style="list-style-type: none"> ・平等利用を確保し、条例等の規定に基づき使用の承認又は不承認を行う。また、現金取扱規程を整備し、利用料金等の徴収を適切に行う。 ・「受付カウンター」については、来館者の目的を的確に理解して案内を行い、最上

	級のホスピタリティにより「一流ホテルレベルの接遇」を実現し、親切、明朗、公平にお客様と接する。
レストラン事業	<ul style="list-style-type: none"> ・レストラン運営は、第三者に委託する。 ・季節メニュー、北海道グルメ等の提供や、ケータリングサービスの実施等、利用者のニーズに応じたサービスを提供し、利用客の増を図る。
自主催事の開催 (自主事業)	施設の認知度アップ、市民への交流の場の提供などを目的として、毎年 SCC サマーフェスタ with Park Jazz Live やこそだてフェスティバル、プラレール博等を継続開催するほか、小惑星探査機「はやぶさ2」の特別展示や SCC 開館 20 周年記念イヤーなどの自主催事・イベントを開催する。
自動販売機事業 (自主事業)	通常の自動販売機のほか、災害救援自動販売機(ライフラインバンダー)、ピンクリボンドネーション自動販売機を設置する。
手数料事業 (自主事業)	主催者からの要望に応じて、弁当・ケータリング等の手配を行う。

6 収支計画

(単位：千円)

項目	金額 (消費税及び地方消費税を含む。)					
	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	合計
施設総収入	306,126	490,171	588,200	594,082	599,966	2,578,545
指定管理業務に係る収入	287,330	458,846	550,611	556,117	561,624	2,414,528
指定管理費	0	0	0	0	0	0
利用料金	160,107	246,809	296,169	299,130	302,092	1,304,307
その他の収入	127,223	212,037	254,442	256,987	259,532	1,110,221
自主事業等収入 (うち指定管理業務充充分)	18,796 (0)	31,325 (0)	37,589 (0)	37,965 (0)	38,342 (0)	164,017 (0)
施設総支出	305,770	481,197	578,587	583,086	587,598	2,536,238
指定管理業務に係る支出	232,586	350,375	404,333	408,832	413,344	1,809,470
自主事業等支出	28,184	45,822	54,254	54,254	54,254	236,768
利益還元	45,000	85,000	120,000	120,000	120,000	490,000
収支の差額	356	8,974	9,613	10,996	12,368	42,307

※ 札幌コンベンションセンターについては、提案において、収支について多額の剰余額が見込まれ、その一部を本市に納付することとされており、本市から指定管理費を支払う必要がないことから、債務負担行為は設定しない。